

第三者評価結果報告書

総 括	
対象事業所名	グローバルキッズ日吉園
経営主体(法人等)	(株)グローバルキッズ
対象サービス	保育所
事業所住所等	〒121-0062 東京都足立区南花畑1-2-6-202
設立年月日	平成22年4月1日
評価実施期間	平成25年1月～平成25年5月
公表年月	平成25年7月
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部
評価項目	横浜市評価基準

総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項等）

【施設の特徴】

1. 立 地

東急東横線・横浜市営地下鉄ブルーライン日吉駅から徒歩8分の閑静な住宅地にあり、木造平屋建ての保育園である。

2. 沿革・概要

当園は平成22年4月1日開園した定員63名（在籍68名）の保育園である。開設時に園長が園舎内外の設計に携わり、園舎内部は家庭に近い環境を心がけ、廊下の壁面には絵画・写真パネル・置物・植木・子ども達の作品等がさりげなく飾られ、全体として温かい雰囲気を感じられる。0,1歳児クラスは年齢別の保育室、2～5歳児クラスはワンフロアとなっている。2歳児の場所は低い棚、ロッカー等で仕切った空間を保育の場として2歳児専用の「ままごとハウス」を置いている。3～5歳児は幼児向きのままごとハウスと、多くの種類のオモチャを用意し合同保育を行っている。

3. 特徴

（1）園の方針として、散歩、幼児の「英語プログラム」の他は多くを子どもたちの自由な活動時間として、子どもたちの自主性・主体性を育てている。

（2）食事や着替え、生活上の日課の準備は子どものペースと意欲を尊重し、複数担任の職員が連携して一人一人を見守りながら、せかすこともなく自然の流れで生活できている。

（3）調理室前にある明るいランチルームには、年齢に応じた高さのテーブル椅子が並び、食事、おやつ時間をにぎやかに楽しく過ごし、異年齢間の交流の場ともなっている。

【優れていると思われる点】

1. 遊び込める環境づくり

カーペット・椅子・机・ソファ・ちゃぶ台等を利用し、それぞれの遊びのコーナーにおもちゃ、教材、素材等が用意されており、子ども達は自分の興味や意向で好きなコーナーでじっくり遊んでいる。自由遊びを通して友達や職員と接する中、自分で進んで行動し相手とコミュニケーションを

とり、相手のことも考えるようになってきている。

各保育室にある3棟の「ままごとハウス」（クラスごとに大きさが異なり、畳1.5畳～3畳程度）は全て、園長の手作りである。廃材やホームセンターで購入した木切れを利用し作り上げた。その過程を子ども達も見ており、出来上がりを楽しみにしていた。「ままごとハウス」の中では、ままごとのほか、ファッションショーや、かくれんぼ、探検ごっこ等さまざまに楽しんでいる姿が見られる。

2. 「自分で考える」ことを大切にしている保育

保育目標のひとつに「自分で考える子ども」を掲げており、日常の生活で違うクラスの友達や大人達と接するなかで、自らの判断で行動をしていくことを大切にしている。食事の場では自分の食べられる量を自分でよそったり、幼児クラスで2グループに分かれて別々の日課を過ごす場合、登園時に自分で日課の内容を聞いて、所属のグループを選択している。友達とのトラブルの際も、どうすれば良いか、相手のことも考えられるように、職員もすぐに介入せずゆっくりと時間をかけて見守っている。

【改善を期待したい点】

1. 保護者が要望、苦情を伝えやすい体制

現在設置されている「第三者委員」は遠隔地在住のため、保護者との面識・日常的な関わりがありません。近隣地域の有識者から「第三者委員」を選任し、園、保護者との日常的な交流の機会を設けることにより、保護者が要望や苦情を述べやすい環境とすることを期待します。

2. 保護者間交流実現への支援

保護者組織は未だ無く、自主的な保護者の活動も特にありません。保護者同士が交流し合い、園とも自由に意見交換できるように、保護者間交流の実現を園としても支援してゆく必要があります。そのために保護者間の交わりに園舎を提供する、園の大きな行事の運動会やクリスマス会等の準備に保護者の協力参加を募るなどにより、保護者間の交流実現を期待します。

3. 積極的な要望・苦情収集と管理強化

現在、職員が受け付けた苦情要望は園長に報告して、対応が必要な案件はその場で対応処理しています。保護者からの要望・苦情の内容を、全職員が知る必要があるケースについては、速やかに全職員に周知して園としての再発を防止し、記録保管することが必要です。また、その記録は後日園内体制の振り返りのためにも大切な記録として機能します。

現在、要望・苦情対応マニュアルがありませんので、設置法人本部と打ち合わせてマニュアルの早期策定を期待します。

4. マニュアル類の整備

人材育成計画、職員の経験・能力に応じた役割と期待水準、実習生受入れ対応、ボランティア受入れ対応などのマニュアル類を整備、職員に公表することにより、職務の一律化と職員のモチベーションアップを図ることができます。早急に対応されることを期待します。

評価領域ごとの特記事項

1. 人権の尊重

・「保育基本マニュアル」に「子ども対応の心得」があり、日々の保育にあたっては対応や言葉遣いについては相互に配慮し、気になる言動については主任や園長がその都度、対応している。

	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと同じ目線になり、一人ひとりの気持ちや発言を受けとめている。 ・保育室の棚の間の空間や手洗い場の隅等、子どもが回りの視線を気にせず、過ごせる場所がある。 ・子どもと一対一で話したいときやプライバシーに配慮が必要な時は使っていない保育室や廊下、事務室内を利用している。 ・個人情報の取り扱いガイドラインは「保育基準マニュアル」に明文化されており、職員は周知し、保護者には入園前の個人面談で写真掲載、園だより等にフルネームで記載する事等を説明し、了解を得ている。 ・性差については、持ち物、服装、行事役割、色等で区別せず、順番・グループ分け、散歩時の整列等は性別によって分けていない。 <p><コメント・提言> 職員や子どもの何気ない日常の言動から性差についてや自分たちが気づいていない固定観念で保育をしていないか等を話し合う機会をもつことが期待されます。</p>
<p>2.意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・0～2歳児はそれぞれ月ごとに個別指導計画を作成し、幼児についても特別な課題があるケースでは個別指導計画を作成し、重要部分の見直しについては職員間で協議し、保護者の意向も反映させながら作成し、結果は保護者に伝えている。 ・園内の遊ぶ環境は、カーペットや衝立、机、いすで仕切ったり、園長手作りの「ままごとハウス」等の様々なコーナーが設けてあり、子ども達は自分の好きな場所に行き、好きなおもちゃやで遊んだり絵本を読むなど楽しんでいる。 ・園の方針として基本的に自由保育を行っており、大まかな一日の流れはあるが、子どもの様子をみながら、十分に遊び込めるようになっている。 ・給食では、職員は子ども一人ひとりを観察しながら食欲や状況により盛り付けの量を調整し、完食する喜びを感じられるようにしている。幼児クラスは自分でごはんやおかずの量を調整し自分で盛るようにしている。・クラス担任と調理担当職員が子どもの好き嫌いを把握し盛り付け時に調整している。 ・クラスの皆が食事を始めたころに職員がメニューや材料についての紹介をし、食べているものに関心が持てるようにしている。年齢に応じて配膳・食器の片づけをしている。ランチルームが調理室の前にあり、調理する様子を見ることが出来る。3歳以上は月に一度クッキング保育の時間があり、うどんやクッキー、柏餅を作る等、食への関心と感謝を持てるようにしている。
<p>3.サービスマネジメントシステムの確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育課程は、乳幼児期の発達の特長や連続性を踏まえて、子どもの最善の利益を第一義に作成されている。 ・保育課程は、乳幼児期の発達の特長や連続性を踏まえて、子どもの最善の利益を第一義に作成されている。 ・保育課程に基づき年齢ごとに年間指導計画、月間指導計画、週案を作成している。 ・子どもの成長に合わせて指導計画をたて、無理をせず、次月も引き続き取り組んでいるなど、計画には柔軟性を持たせている。 ・「慣れ保育」の必要性については、入園説明会や個別面接で保護者に説明をしているが、保護者の就労状況と子どもの様子を観察しながら対応している。 ・0～2歳児には連絡帳に園生活の状況を記入し、また家庭での状況も保護者に記載してもらっている。 ・各保育室には園長手作りの「ままごとハウス」が置かれて、低年齢児も小集団での遊びが行われている。 ・3～5歳児のクラスはワンフロアに並んでおり、自由に行き来でき、年齢クラス別保育以外のときは、自動的に異年齢保育が行われている。 ・各種の遊具は、遊びのコーナー内の低い棚や机の上に、おもちゃ類、教材、

	<p>絵本、はさみ、のり、粘土、クレヨン・筆記具、用紙類が置かれ、子どもたちは自分で遊びたいものを選んで自由に使って遊んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園の方針として基本的に自由保育を行っており、大まかな一日の流れはあるが、子どもの様子をみながら、十分に遊び込めるようになっている。 ・職員は子どもの様子を見守りながら、一人ひとりが興味・関心を持ち、満足感を持って遊べるように声掛けしたり、援助をしている。 ・嘱託医による健康診断は年2回、歯科健診は年1回行い、一人ひとりの「健康台帳」に記録している。健康診断時に、保護者から前もって寄せられた質問についての回答やアドバイスをもらったり、感染症についての対応や話を伺っている。 ・子どものケガについては担任が口頭で保護者に説明をしている。担任が対応できない場合には引き継ぐ職員に説明し「夕保育連絡票・日誌」に記録し引き継ぎをしている。
<p>4.地域との交流・連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市港北区の私立園長会に出席し、子育て支援ニーズの把握に努めている。また公私立保育園のイベント「ワクワク子育て広場」で園長が実行委員長を務め、参加40園のまとめ役を果たしながら、地域についての子育て情報を収集している。 ・子育てを支援するサービスとして一時保育を実施している。希望者が多く、毎月10名ほどの園児を受け入れている。 ・園見学時点で見学者からの育児に関する質問があり、相談に乗っているが、育児相談について地域住民に直接発信する仕組みがなく、まだ実績がない。 ・港北区家庭支援課をはじめ、育児に関する専門関係機関の一覧表を玄関に掲示して、連携できる体制はできている。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園は地域社会からも専門性を活かした子育て支援活動が求められています。そのために、地域にどのようなニーズがあるかなどを、職員と一緒に話し合っ、その上で地域活動を展開することを期待します。 ・保育園として、地域の子育て支援ニーズを把握して、積極的に子育て支援を行うことを期待します。
<p>5.運営上の透明性の確保と継続性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「園のしおり」は受付前に置き、誰でも持ち帰れるようにしている。設置法人のホームページ、横浜市のホームページに情報が載っている。園独自のホームページ開設を予定している。 ・外部の情報提供媒体として、子育て支援活動の「NPO法人びーのびーの」の幼稚園保育園ガイドに掲載紹介されている。 ・問い合わせや見学希望については主任・園長が丁寧に対応しており、見学者の希望日時に合わせている。また新設予定の系列保育園入所希望者の見学や相談も受け付けている。 ・3月に年長児が地域の日吉台小学校に見学に行き、1年生と交流をしたり、他園から見学に来ている保育園児とのドッジボール大会に参加している。 ・駐車場を借り上げ、送迎時に近隣に迷惑にならないようにしている。ゴミ集積所の掃除、整頓を心がけている。
<p>6.職員の資質向上の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は職員との面接を通して、職員個々の成長のためのチャレンジ目標を定め、年度末にはその達成度を評価している。 ・園長は職員の研修ニーズをもとに、年間研修計画を作成し、職員は横浜市青少年局主催の保育指導能力向上のための研修や、港北区主催の「アレルギー、子どもの病気」等の研修に年間18名の職員が参加している。その他・設置法人本部主催のコミュニケーションに関する研修は全職員が参加している。

- ・研修受講結果は職員会議で報告され、職員はその成果を日常の保育活動に活かしている。
- ・毎月開催される園長会で紹介されたサービスの好事例を園長が持ち帰り、職員会議で報告したり、サービス向上改善事例を紹介して職員を啓発している。また夜間会議を開催し、園長が保育活動とコーナーの働きというテーマについて課題を提供し、職員が討議研究する場が設けられている。
- ・園長は年2回、職員に対し個別面接を実施し、業務内容に関する目標と反省を確認して要望や提案を聴き、モチベーションの維持向上を図っている。

評価機関による評価



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

評価領域 I 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念を「子供たちの未来のために豊かに生きる力を育てる」とし、保育目標を「元気でたくましい子ども、自分で考える子ども、思いやりのある子ども、明るく伸び伸びとした子ども」としている。保育方針は「子どもが毎日楽しいと思える保育園づくりを目指し、子どもの最善の利益を尊重したものとなっている。 ・保育課程は、乳幼児期の発達の特長や連続性を踏まえて、子どもの最善の利益を第一義に作成されている。 ・保育課程に基づき年齢ごとに年間指導計画、月間指導計画、週案を作成している。 ・子どもの成長に合わせて指導計画をたて、無理をせず、次月も引き続き取り組んでいるなど、計画には柔軟性を持たせている。
<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対して入園前に園長と主任が面接し、園の保育方針などを説明するとともに、家庭の状況、子どもの生育歴などを聴取している。同時に子どもの観察を行い、面接記録は所定ファイルに綴り込み、職員は入園後の日常保育の参考にしている。 ・「慣れ保育」の必要性については、入園説明会や個別面接で保護者に説明をしているが、保護者の就労状況と子どもの様子を観察しながら対応している。 ・0～2歳児には連絡帳に園生活の状況を記入し、また家庭での状況も保護者に記載してもらっている ・園の方針としてグループ保育を行っているので、0,1歳児の主担当者は決めていない。 ・月間指導計画は子どもの成長・発達を見つめながら作成し、クラス職員が話し合って見直しを行っている。
<p>I-3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が清掃チェックリストに基づいて行っている清掃により、園舎内外とも清潔に保たれている。 ・空調管理としてエアコン、加湿器、空気清浄器・温湿度計を活用し、職員の体感も考慮した管理を行い時折クラスの窓を開けて風の通りをよくして適正な換気を行っている。なので気になる汚物やおむつの臭いは防止されている。 ・園舎内の採光は豊かで、各保育室は南側に大きな窓があり、またランチルームは天井に明かり窓が付けられている。 ・0、1歳のクラスには沐浴室とシャワー室がある。園舎の外にも温水シャワーがあり、外遊びの後足を洗って入室することができる。 ・各保育室には園長手作りの「ままごとハウス」が置かれて、低年齢児も小集団での遊びが行われている。 ・3～5歳児のクラスはワンフロアに並んでおり、自由に行き来できて、年齢クラス別保育以外のときは、異年齢保育が行われている。

I-4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力



- ・0～2歳児はそれぞれ月ごとに個別指導計画を作成し、幼児についても特別な課題があるケースでは個別指導計画を作成している。
- ・重要部分の見直しについては職員間で協議し、保護者の意向も反映させながら作成し、結果は保護者に伝えている。
- ・子どもについての基本的な情報として入園時の面接記録及び家庭の状況や生育歴、児童票、健康台帳、年毎の発達経過記録などがあり、全職員は必要に応じていつでも閲覧できる。
- ・クラス運営は複数担任制を取っており、1名の職員が持ち上がり、クラスの担任になる仕組みとなっている。引き継ぎは児童票や生活記録に関する書類を確認しながら行っている。

I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- ・配慮を要する子どもについての打ち合わせは、2週間に1回開催される職員会議において、クラス報告の中で個別ケースとして協議され、職員間で情報の共有が図られている。
- ・園舎は平屋建てで、階段やクラス仕切りの段差もなくバリアフリーとなっている。日常の障がい児保育は、職員の見守りの中で統合保育を行っている。
- ・職員は虐待に関する研修受講により、一般的な虐待の定義は認識している。虐待予兆を発見した場合は、設置法人本部と相談の上、指示を得たうえで園長が児童相談所など関係機関に連絡することとしている。
- ・入園前の個別面接の中で食物アレルギーについて確認し、保護者から医師の診断書と指示書の提出を得て対応している。代替食や除去食は、担任が献立表を見て確認し、アレルギー児の席をあらかじめ定め、名前入りの専用食器とトレイを用いて誤食防止を図っている。
- ・2名の外国籍の子どもがいるが、日本語が理解でき特に配慮を要する生活習慣の違いはない。

評価分類

評価の理由（コメント）

I-6 苦情解決体制




- ・苦情受付担当は園長であることを「入園のしおり」に記載して保護者に伝えている。
- ・第三者委員は遠隔地に在住しており、保護者が日常的に連絡したり、直接苦情を申し述べることは困難である。
- ・苦情受付の意見箱は設置されておらず、行事のアンケートは実施しているが、意見集約や会議等での検討、アンケート結果の保護者へのフィードバックはしていない。
- ・職員は保護者から要望や苦情を受けた場合、マニュアルが整備されていないが口頭、連絡帳、連絡ノート等を用いて速やかに対応し園長に報告している。苦情の内容によってはミーティング・職員会議等によって職員への周知を図っている。
- ・過去の苦情発生記録は1件のみで、日常的な苦情・要望のデータの蓄積はない。

<コメント・提言>

- ・第三者委員は保護者から気軽に意見や相談を受けることができる地域の有識者にお願いすることを期待します。
- ・日常的な保護者の意見・苦情は、現在その場で解決していますが、全職員に周知し、記録に残して保管し、随時検証することにより実質的な再発防止策となりますので、検討を期待します。
- ・苦情処理に関する対応・処理マニュアルを、設置法人本部と協議して作成することを期待します。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="183 219 507 250">Ⅱ－１ 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none">・園内は、カーペットや衝立、机、いすで仕切ったり、園長手作りの「ままごとハウス」等の様々なコーナーが設けてあり、子ども達は自分の好きな場所に行き、好きなおもちゃで遊んだり絵本を読むなど楽しんでいる。・各種の遊具は、遊びのコーナー内の低い棚や机の上に、おもちゃ類、教材、絵本、はさみ、のり、粘土、クレヨン・筆記具、用紙類が置かれ、子ども達は自分で遊びたいものを選んで自由に使って遊んでいる。・職員は子どもの様子を見守りながら、一人一人が興味・関心を持ち、満足感を持って遊べるように声掛けしたり、援助をしている。・園庭やプランターで、季節の花、ナス、キュウリ、ピーマンなどを栽培し、成長を楽しみ、野菜類は放射能汚染の心配から、給食提供は止めて野菜スタンプを作った。オタマジャクシ・カブトムシなどを飼い観察をした。また、園庭に梅、クランベリー、ブドウの果樹木がある。今年度卒園生記念樹としてさくらんぼを植え、果樹の実りを楽しみに行っている。園庭の桜の木に野鳥が巣をつくり、子ども達と巣立ちまで観察した・子ども達は工作や塗り絵、絵を描く、歌う、踊る、CD音楽を聞くなどして、自由に楽しんでいる。保育室や廊下には子ども達の描いた絵や製作のモビールなどが飾られている。絵本コーナーの前に作品展示の場所があり、子どもが自分で作品を飾っておくことができる。・お散歩マップを作成し近隣に点在する公園の特徴を選んで散歩に出かけている。散歩・外遊びは天候や子どもの状態を考慮しながら積極的に行っている。

Ⅱ－１ 保育内容[生活]



- ・給食時に、職員は子ども一人一人を観察しながら食欲や状況により盛り付けの量を調整し、完食する喜びを感じられるようにしている。幼児クラスは自分でごはんやおかずの量を調整し自分で盛るようにしている。
- ・クラス担任と調理担当職員が子どもの好き嫌いを把握し盛り付け時に調整している。
- ・クラスの皆が食事を始めたところに職員がメニューや材料についての紹介をし、食べているものに関心を持てるようにしている。年齢に応じて配膳・食器の片づけをしている。ランチルームが調理室の前にあり、調理する様子を見ることができる。3歳以上は月に一度クッキング保育の時間があり、うどんやクッキー、柏餅を作るなど、食への関心と感謝を持てるようにしている。
- ・献立には旬の食材を用い、3月のおやつには桜餅、7月の七夕にはそうめん、12月にはクリスマス料理と、季節や行事に合わせた行事食を取り入れ、盛り付けや飾りに工夫をしている。
- ・食事は専用のランチルームがあり、テーブルに花が置かれ、静かなBGMが流れている。調理員がランチルーム配膳時にマスク着用している。職員は三角巾・エプロンを身に付け、皆で食事マナーを守りながら、友達や職員と会話をして楽しく食事をしている。
- ・一年に一度、試食会を開催し（今年度は6月に開催し、保護者の約1/3の20名参加）、園の給食に関心を持っていただくと同時に、栄養士の話や質疑応答を行っている。
- ・乳幼児突然死症候群防止チェックは、6か月未満の子どもは5分毎、6か月～1歳は10分毎に、2歳以上は様子を観察しながら行っている。玄関ボードに「SIDSから赤ちゃんを守るための3つのポイント」を掲示し保護者にも注意を呼びかけている
- ・送迎時に保護者と連携して毎日の子どもの状態を把握し、乳児については排泄状況を連絡帳などで保護者に知らせている。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- ・健康管理マニュアルがあり、日々子どもの様子、顔色、体温等の変化を看護師とクラス担任職員が観察し把握している。
- ・登園時に保護者から健康状態を聞き、職員も観察を行い、保育中体調が悪くなったときの対応は熱が37度5分を目安に様子を見ながら保護者に連絡している。
- ・嘱託医による健康診断は年2回、歯科健診は年1回行い、一人ひとりの「健康台帳」に記録している。健康診断時に、保護者から前もって寄せられた質問についての回答やアドバイスをもらったり、感染症の内容や対応について話を伺っている。
- ・感染症対応マニュアルがあり、保護者には入園時や懇談会で説明をしている。「入園のしおり」に登園許可証・対応についての記述がある。
- ・感染症について法人本部、横浜市、港北区より随時ファクスで情報提供がある。また看護師会議に出席した看護師からの報告は、職員会議で行っており、全職員が周知している。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]





- ・保健衛生マニュアルがあり職員は入社時に説明を受けている。設置法人の看護師会に出席した看護師から本部からの伝達事項を聴き、マニュアル改定時には改定事項を確認をしている。
- ・園内外はマニュアルに基づき清潔に保たれ、清掃記録がある。手を洗った後はペーパータオルを使用している。園受付、各保育室に手指消毒液を用意し来客や保護者にも消毒の協力をお願いしている。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]





- ・安全管理マニュアルがあり、棚、家具類は作り付けになっている。棚上に置いてあるカセットデッキなど備品はすべり止めを敷いている。保育室、廊下天井部に誘導灯が設置されている。
- ・園の電話は災害緊急時にも使用できるようになっている。
- ・毎月、避難訓練を実施し、さまざまな状況下で誰でもが迅速に対応できるようにしている。地域の避難場所に歩く訓練も行っている。園内に水、アルファ米、乾パン、簡易トイレ、懐中電灯等2、3日分の非常時備蓄品がある。
- ・幼児救急救命法を身に付けた職員が4人おり、今後も研修等受講し増える予定である。
- ・子どものケガについては担任が口頭で保護者に説明をしている。担任が対応できない場合には引き継ぐ職員に説明し「夕保育連絡票・日誌」に記録し引き継ぎをしている。
- ・園庭の門扉は電子錠になっており、一般の人はインターフォンで確認してから開錠している。新年度から保護者は認識カードを使用し、またネームプレートを身に付けて出入りしてもらうこと、また一般の人や業者には身分を証明するものを提示してもらい、受付で署名してもらうことを徹底していく予定である。
- ・近隣の交番から年に2回程度園に来てもらい、不審者対応訓練の協力をお願いしている。




<コメント・提言>
平成22年開園で現在は不審者などの情報を得るネットワークがないため、港北区役所や地域から防犯・不審者情報が随時得られるネットワークを作ることが望まれます。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅱ－３ 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・「保育基本マニュアル」に「子ども対応の心得」があり、日々の保育にあたっている。対応や言葉遣いについては相互に配慮し、気になる言動については主任や園長がその都度、対応している。 ・子どもと同じ目線になり、一人一人の気持ちや発言を受けとめている。 ・保育室の棚の間の空間や手洗い場の隅など、子どもが回りの視線を気にせず、過ごせる場所がある。 ・子どもと一対一で話したいときやプライバシーに配慮が必要な時は使っていない保育室や廊下、事務室内を利用している。 ・個人情報の取り扱いガイドラインは「保育基準マニュアル」に明文化されており、職員は周知し、保護者には入園前の個人面談で写真掲載、園だよりなどにフルネームで記載することなどを説明し、了解を得ている。 ・性差については、持ち物、服装、行事役割、色などで区別せず、順番・グループ分け、散歩時の整列などは性別によって分けていない。 <p><コメント・提言> 職員や子どもの何気ない日常の言動から性差についてや自分たちが気づいていない固定観念で保育をしていないかなどを話し合う機会をもつことが期待されます。</p>
<p>Ⅱ－４ 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常保育の中で、クラスの掲示板や連絡帳、園だよりで保育方針を分かりやすく記載し、保護者に理解されるように努めている。 ・0～2歳クラスは毎日「連絡帳」を使用し、3歳以上は随時「個人連絡ノート」を使用し、家庭とやりとりをしている。 ・個人面談は年に1回行うほか、希望すればいつでも受け付けている。 ・相談は「クラスノート」に記録しており、保護者へは日頃から声をかけ、様子をみながら接するようにしている。 ・日常の保育の様子をほぼ毎日写真にとり、ホームページに掲載し保護者が希望の写真を購入できるようにしている。また、ビデオ録画したものを懇談会で上映している。 ・保育参加・参観週間を設定しているほか、希望があればいつでも受け付けている。保育参加・参観どちらでも自由に選択できるようになっており、保護者の参加率が高くなっている。 ・現在のところ保護者組織は無く、保護者の自主活動の事例も無い。 <p><コメント・提言> 運動会や夏祭り、クリスマス会など行事への保護者の手伝いや参加を通して、保護者同士及び職員間との交流や意見交換の機会が増えることが期待されます。</p>



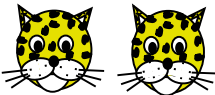
評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市港北区の私立園長会に出席し、子育て支援ニーズの把握に努めている。また公私立保育園のイベント「ワクワク子育て広場」で園長が実行委員長を務め、参加40園のまとめ役を果たしながら、地域についての子育て情報を収集している。 ・園内での子育て支援ニーズに関して特定した話し合いは行われていない。 ・子育てを支援するサービスとして一時保育を実施している。希望者が多く、毎月10名ほどの園児を受け入れている。 ・地域住民に対し子育てに関する育児講座や研修会など特に実施していない。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園は地域社会からも専門性を活かした子育て支援活動が求められています。そのために、地域にどのようなニーズがあるかなどを、職員と一緒に話し合っ、その上で地域活動を展開することを期待します。
<p>Ⅲ－２ 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園見学時点で見学者からの育児に関する質問があり、相談に乗っているが、育児相談について地域住民に直接発信する仕組みがなく、まだ実績がない。 ・港北区子ども家庭支援課をはじめ、育児に関する専門関係機関の一覧表を玄関に掲示して、連携できる体制はできている。 ・関係機関との連携にあたっての担当者は園長としている。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園として、地域の子育て支援ニーズを把握して、積極的に子育て支援を行うことを期待します。

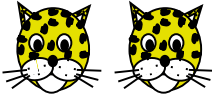


評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>IV-1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・3月に年長児が地域の日吉台小学校に見学に行き、1年生と交流をしたり、他園から見学に来ている保育園児とのドッジボール大会に参加している。 ・駐車場を借り上げ、送迎時に近隣に迷惑にならないようにしている。ゴミ集積所の掃除、整頓を心がけている。開設当初、行事の際には近隣にお手紙を配付していた。現在は保育園の子どもの元気な姿や声がありがたいと言ってもらえるようになっている。 ・遠足で綱島モッキー、鯛が崎プレイパークに行っている。 ・散歩や公園内で出会った地域の人たちとの交流を大切にしている。商店の方に行事（ハロウィン）に参加していただいている。 <p><コメント・提言></p> <p>園の行事に地域住民を招待したり、備品貸し出し、他の園や福祉施設との交流に至っていませんが、地域への施設開放や備品の貸し出しなどに取り組み、また他の園や地域の学校、福祉施設等との交流を持たれることが望めます。</p>
<p>IV-2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・「園のしおり」は受付前に置き、誰でも持ち帰れるようにしている。設置法人のホームページ、横浜市のホームページに情報が載っている。園独自のホームページ開設を予定している。 ・園の情報が、地域の子育て支援NPO「びーのびーの幼稚園保育園ガイド」に掲載紹介されている。 ・問い合わせや見学希望については主任・園長が丁寧に対応しており、見学者の希望日時に合わせている。また新設予定の系列保育園入所希望者の見学や相談も受け付けている。
<p>IV-3 実習・ボランティアの受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生受け入れの際には「園だより」や掲示で紹介し、受け入れの趣旨を説明している。 ・受け入れ担当は園長で、クラス担任が育成を担当する。 ・実習生と打ち合わせを行い、実習内容の希望等を聞き、個別にプログラムを立てている。 ・ボランティア受け入れマニュアル、実習生受け入れマニュアルは整備されていない。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア受け入れ実績がまだないのでマニュアルを整備し、地域や近隣の中学・高校のボランティアを受け入れることが期待されます。 ・実習生を受け入れていますが、受け入れマニュアルを早急に整備し、また、実習の記録を残して今後の保育活動につなげることが望めます。

評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>V-1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・人員の補充が必要なときは、園長は設置法人に連絡し法人で補充する体制になっている。 ・園長は職員との面接を通して職員個々の成長のためのチャレンジ目標を定め、年度末にはその達成度を評価している。 ・園長は職員の研修ニーズをもとに、年間研修計画を作成し、職員は横浜市青少年局主催の保育指導能力向上のための研修や、港北区主催の「アレルギー、子どもの病気」などの研修に年間18名の職員が参加している。その他・設置法人本部主催のコミュニケーションに関する研修は全職員が参加している。 ・研修受講結果は職員会議で報告され、職員はその成果を日常の保育活動に活かしている。 ・非常勤職員は職務に当たっては原則として正規職員組み合わせ、資質向上のため日中活動では正職員がクラス内でOJTを実施している。また園長が保育の実際について年間3～4回、具体的な指導をしている。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成計画はできていないので、目下設置法人本部が策定中である。
<p>V-2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は月間指導計画の終了時に、本来策定した趣旨にのっとり評価反省を記載することにより、振り返りと自己評価が行われている。 ・毎月開催される園長会で紹介されたサービスの好事例を園長が持ち帰り、職員会議で報告したり、サービス向上改善事例を紹介して職員を啓発している。また夜間会議を開催し、園長が保育活動とコーナーの働きというテーマについて課題を提供し、職員が討議研究する場が設けられている。 ・保育の振り返りは活動結果だけにとらわれず、子どもの成長につながる支援となっていたかを基本として実施し、課題を次週の計画に反映させている。 ・職員の業務振り返りの内容を互いに報告しあったり、話し合いは行われていないので、保育所の課題が明らかになっていない。 ・今回の第三者評価において行われた自己評価は、まだ公表されていない。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、新保育指針に基づく職員一人一人の自己評価と、重点を絞った保育所の自己評価を行うことにより、園独自で保育上の課題を抽出し改善を図ることが期待されます。
<p>V-3 職員のモチベーションの維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の経験や能力に応じた役割について明文化したものはないが、園長が職員との面接の中で役割や期待する事項を伝えている。 ・職員からは保育内容についての意見があれば積極的に聴取し、現場にはイレギュラーケース以外は権限を委譲している。 ・園長は年2回、職員に対し個別面接を実施し、業務内容に関する目標と反省を確認して要望や提案を聴き、モチベーションの維持向上を図っている。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全社的に、職員の経験・能力・習熟度に応じた期待水準を制定し、それを公表することにより職員のモチベーションの維持向上に役立てることを期待します。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育マニュアルに不正や不適切な行為の防止、守秘義務等が明記され、職員は法や倫理を遵守している。 ・新聞報道などの他施設での不適切事例について、職員会議などで職員に伝えて職員の啓発を図っている。 ・省エネ対策として資源の再利用としてうらがみの利用や、廃材を子どもの遊具や製作に活かし節電に取り組み、トイレは自動的に照明が切れる仕組みとなっている。また園舎は各クラスの天井中央部分に明り取りの窓があり、節電対策となっている。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業経営の透明性を確保するために、経営・財務状況などの情報を積極的に開示することが期待されます。 ・園の環境への考え方、取組などを明文化して地域社会に知らせることを期待します。
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・理念や方針を明文化して全職員に配布している。また職員会議のたびに理念や方針の理解について確認する場を設け、さらに職員の理解度を確かめるため理解度テストを実施している。 ・重要な意思決定の場合には保護者のクラス代表と園長とで構成される運営委員会や保護者会を開催して説明している。 ・主任は職員の業務執行状況や職員個々の能力を把握して毎月のシフト表を作成し、日中は随時保育室にも入り、職員の指導やアドバイスを行っている。 ・主任は職務を通して職員個々の悩みごとの相談に乗ったりして職員からの信望は厚い。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置法人によって、主任クラスを計画的に育成するプログラムの作成を期待します。
<p>VI-3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は横浜市港北区の私立園長会に出席したり、公私立保育園が参加するイベント「ワクワク子育て広場」の責任者を務め、そのような場を通して園運営に必要な情報を収集している。 ・設置法人本部は保育園業界の情報の収集分析を行い、必要な情報は園長宛連絡しているので、園として必要な部分は職員会議で報告し職員と共有を図っている。 ・園全体で取り組むべき改善課題は、リーダー会議、職員会議で協議、対処している。 ・設置法人本部で次代を担う幹部社員養成を行っている。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・園としての3～5年間程度の中長期計画を作成し、計画的に園全体の充実化を図ることを期待します。 ・園運営に関し外部の専門家など社外の方々から意見を取り入れることが視野の拡大につながりますので、検討を期待します。

利用者家族アンケート

結果の特徴

アンケート回収率 総世帯数 61世帯 回収44世帯 回収率 72%

【注】下記コメントの中で平均満足度は、各質問中「満足」「どちらかと言えば満足」の回答総数の割合で示しています。

【1】入園したときの状況の平均満足度は88%と高く、丁寧な説明がなされたことを裏付けています。

【2】保育園の年間計画では、日程面などで「保護者の要望が満たされていない」回答が25%ありました。保護者とのコミュニケーションをご検討ください。

【3】日常の保育内容 遊び については、平均満足度は92.3%と高く、戸外遊びなどについて保護者の満足度は98%と高い評価でした。

【4】日常の保育内容 生活 については、オムツはずしの項目を除く平均満足度は91.3%と高く評価されていますが、保育中のケガ発生に場合の対応の満足度が82%で、対応の再検討が期待されま

す。

【5】保育園の快適さや安全対策についての平均満足度は80.2%で、保護者の自由意見の中では不審者対応に懸念する声が目立ちました。保護者が不安に感じないような対応を期待します。

【6】園と保護者の連携・交流での平均満足度は83.1%で、「送迎時のお子さんに関する情報提供」項目の満足度が73%と低く、保護者が最も望んでいることの一つでもありますので、体制面での再検討を期待します。

【7】職員の対応では、アレルギー児対応の項目を除く平均満足度は91.7%と高く評価されていますが、「意見要望への対応」項目の満足度は82%でした。保護者の言葉への対応姿勢を再検討されることを期待します。

【8】アンケートの総合満足度は96%と高い評価になっています。ただしその内容が「満足」50%、「どちらかと言えば満足」46%ですので、高い評価が出ていない項目について更なるご努力を期待します。

調査結果

■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	14%	64%	11%	9%	2%	0%



問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

付問1

理念や方針への賛同	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	47%	41%	9%	3%	0%	0%

■施設のサービス内容について

問2 入園した時の状況

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	59%	23%	2%	0%	16%	0%
	その他:					
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	52%	36%	5%	0%	5%	2%
	その他:					
園の目標や方針についての説明には	32%	55%	7%	4%	0%	2%
	その他:					
お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	55%	43%	2%	0%	0	0%
	その他:					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	44%	41%	9%	2%	2%	2%
	その他:					
入園後に食い違いがなかったかなども含め、費用やきまりに関する説明については	59%	29%	5%	5%	0%	2%
	その他:					

問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	46%	36%	9%	2%	2%	5%
	その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	32%	43%	14%	5%	2%	4%
	その他:					

問4 日常の保育内容について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
遊びについて						
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	48%	39%	9%	0%	2%	2%
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	71%	27%	0%	0%	0%	2%
	その他:					

園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	50%	43%	5%	0%	0%	2%
	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	52%	40%	2%	2%	0%	2%
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	57%	34%	7%	0%	0%	2%
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	43%	50%	5%	0%	0%	2%
	その他:					

生活について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	73%	23%	0%	0%	2%	2%
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	64%	30%	2%	0%	2%	2%
	その他:					
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	50%	41%	2%	5%	2%	0%
	その他:					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	55%	39%	0%	4%	2%	0%
	その他:					
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	46%	30%	7%	2%	11%	4%
	その他:					
お子さんの体調への気配りについては	50%	41%	7%	2%	0%	0%
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	43%	39%	14%	4%	0%	0%
	その他:					

問5 保育園の快適さや安全対策について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	43%	36%	14%	2%	5%	0%
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	39%	41%	16%	4%	0%	0%
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	23%	52%	14%	9%	0%	2%
	その他:					

感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	48%	39%	11%	2%	0%	0%
	その他:					

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	37%	43%	11%	7%	2%	0%
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	41%	46%	11%	2%	0%	0%
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	48%	34%	11%	5%	0%	2%
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	36%	37%	16%	7%	4%	0%
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	30%	52%	9%	5%	4%	0%
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	30%	57%	4%	2%	7%	0%
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	70%	21%	0%	5%	2%	2%
	その他:					

問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	59%	34%	5%	0%	2%	0%
	その他:					
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	64%	32%	4%	0%	0%	5%
	その他:					
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	39%	36%	2%	5%	16%	2%
	その他:					
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	50%	46%	0%	2%	0%	2%
	その他:					
意見や要望への対応については	27%	55%	9%	2%	5%	2%
	その他:					

問8 保育園の総合的評価

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
総合満足度は	50%	46%	2%	2%	0%

利用者本人調査

0 歳児

◇遊び～食事～午睡

食事の時間が近づくと、布製おもちゃやブロック等で遊んでいた 0 歳児の 2～3 人が職員に手を引かれてランチルームに向かう。一度に入れないので順番にランチルームに向かう。食事は 2 名の職員が対応している。職員に手伝ってもらい石鹸を手に付けてもらってしっかり洗ってから、奥の 2 つのテーブルに座らせてもらう。職員 2 名がそれぞれ、2～3 人を担当し、エプロンをつけてもらい配膳されると自分たちのペースで食事を始めた。「これもおいしそうね」「たくさん食べてね」等の声掛けや介助をしてもらいながら、子ども達はお互いになにこにこし、一生懸命食べている。「お茶下さいって言うのよね」と職員が言うと「おちゃくだー（まだ完全に言えない）」と繰り返していた。果物を食べ終わって手をナプキンで拭いてもらいごちそう様と手を合わせた後、順番に手を引かれて保育室にもどって行った。保育室で食事の順番を待っている他の園児は、保育室内にいる職員と、遊んだり絵本を読んだりと自由にすごしている。

戻ってきた子ども達はおむつを替えた後、用意された布団にすぐ横になる子、また遊び出す子と様々。次に食事に向かう子は、「行ってらっしゃい」の声に嬉しそうに手を振っている。

全員が食事から戻ると、静かな BGM が流され部屋はロールカーテンが下されて、薄暗くされて、午睡の環境になる。すぐに寝入ってしまう子や、おなかやおでこをさすってもらい背中をトントンされていた子も、いつの間にか静かに寝入っていた。

1 歳児

◇散歩

園庭に揃ったところで職員が人数確認した後、近くの公園に出かける。友達と手をつないでいる。職員と、道々の花等について話しながら、歩く。途中にある、道祖神に近づくと「おじょうさんおじょうさん」と子ども達が言っている。「のんのんしようね」と職員が声をかける。二人ずつが順番に手を合わせて「のんのん」「行ってきます」と言っている。職員が道祖神に「公園に行ってきます。元気ですごしてきます」と言うと、また皆も手を合わせた。毎回通る度に手を合わせているのだそうだ。

歩いている途中で靴が脱げてしまう子がいたが、皆立ちどまってその子が靴を履くまで待っていて、履き終わると歩きはじめている。

別の子の靴が脱げた。近くにいた子が一生懸命手伝ってあげている。「〇ちゃん、ありがとうね」「〇ちゃんやさしいね」「お友だちも喜んでいるね」と職員がその子に声掛すると、嬉しそうになにこにこしていた。

公園に着くと、すでに遊んでいる他園の子たちもいる。

職員は全員を集めて、「他の園のお友だちも一緒にあそびましょう。順番を守って、危なくないようにしましょう。帰るよー」と言ったら、みんな集まってください」と話すと同時に、皆それぞれが好きな遊具めがけて走って行った。滑り台、ブランコ、砂場、なわとびを使って電車ごっこ、職員と一緒に走り回ったりしている。

花壇の花を見て「チューリップがいっぱいだね」とか、カラスが来たのを見て「木の上に巣があるのかなあ」「ありがいるよ、ありが一匹いた。」と皆に教えてくれる

やがて、縄跳びのひもの取り合いが始まった。二人とも泣き出した。しばらく見守っていた職員

がゆっくり近づいて話しを聞き出した。やがて仲直りしたのか順番に縄を使って遊んだあと、二人は仲良く電車ごっこを始めていた。

帰途では、だれからともなく「春がきた～ 春がきた」と歌いだす。やがて職員のリードで「ゆきやこんこ」「チューリップのうた」の歌が始まった。

2 歳児

◇食事

手を洗った後、配膳された食卓に着くと、着いた順番に大きな声で「いただきます」と手を合わせ食事をはじめ。今日の主食はパン。細かくちぎって食べたり、かじりついたり、パンの皮だけ先に食べたりと思いつきに食べている。「よく噛んで食べてね」と職員が声掛けしている。「今日は白いご飯じゃなかったね、パンの日だったね」「先生、しらす食べたよ」「おかわりできそう」と、楽しそうな会話が弾んでいた。

「全員がそろったところでメニューの紹介をします」と職員がメニューの紹介やおかわりができること、後で出るデザートを紹介をしている。

3～5 歳児（合同保育）

◇散歩

穏やかな陽ざしの中、公園では電車ごっこ、ボール投げ、砂場でケーキ作りなどを行っている。縄跳びの綱の片方を遊具の支柱に括り付け、職員が綱を回している。「いち、に、さん、はいっ」子ども達はリズムよく飛んでいたが、言い争いが始まった。「私が先」「順番がちがう」と小声で言った子が

滑り台の階段の下まで走って行き泣き始めた。職員が「あれ、どうしたのかしら？〇〇さん泣いているよ。どうしたらいい？」子ども達は黙ったまま滑り台の方をみている。再び職員が「どうしたらいいのかしら」と声をかけると、言い争いになった相手の子が「わたし、あやまるよ」と走って行き顔を覗き込みながら「ごめんね。一緒に縄跳びしよう。みんな待っているよ」「うん」間もなく二人は手を繋いで戻ってきた。「よかったね。さあ、みんな続けるよ」「先に入っている？」「どうぞ」泣いていた子は笑顔になっていた。

◇室内自由遊び

ワンフロアになっている幼児クラスでは、子ども達がそれぞれのコーナーで、自分の興味のある遊びを楽しんでいる。園長手作りの「ままごとハウス」で料理作りや人形遊びをしたり、鏡にむかって、ドレスを何回も着替えている子、ゆったりしたソファで静かに絵本を読んでいる子、カーペットにすわりこんで、電車や車で友達と一緒にガレージごっこ、机に向かって、廃材で一生懸命になって工作したり、別の机では絵を描いたり、折り紙をしている。中央に、ちゃぶ台と座布団があり、そこではお茶を飲むコーナーとなっている。また、電子ピアノもあり、自由に弾けるようになっている。

子ども達は、自分の興味に従って、友達や職員と色々な話をしたり、じっくりとおちついて遊び込んでいた。

グローバルキッズ 日吉園 事業者意見

開園後まもなく4年目を迎えるにあたり、これまでの3年間を見直すとともに、今後の課題を導くために受審しました。

今回、評価機関の方や保護者の方からの声も参考に、改めてスタッフ全員で見直しを行うことができました。改善点については、きちんとスタッフ間で話し合いをし、今後の課題として取り組んでいきたいと考えています。また、良い評価を頂いたことは、全スタッフの励みとなり、感謝しています。

今後も保護者の方、地域の方からのご協力を頂きながら、「温かい園づくり」に取組み、日々の保育運営を行っていきたいと思っております。

保護者の皆様には、アンケートにご協力いただきまして有り難うございました。また、評価機関の皆様には現場の声に耳を傾けて頂き、感謝しております。

有り難うございました。

グローバルキッズ日吉園 園長 松本雄一